

破天荒

教宣部

5047号

2018年

10月22日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



全竹中労働組合 7名が新加盟

十月二十日、労館にて電子従業員六名とオプト従業員一名が新たに全竹中労組に加盟することになりました。

加入理由

あと三年後には正社員の組合員がいなくなることによって労働協約が無くなる。会社がエンジのように好き勝手に就業規則を変えられる恐れがある。労働条件の維持向上・明るく働き易い職場を求めて、あわせて七人の仲間が加わることになりました。

オプトでは技術課長が主導権を握るため、社員を差別し、「俺に逆らうところなるんだ」みたいな見せしめのイジメに端を発し、孤独

の中、全竹中労組に助けを求めての加入でした。

現状

組合員は高齢化を迎え、オプトでは既に組合員が居なくなつたことを受けて、労働協約からオプトニック株式会社の名前は消え、就

う現状でした。

竹中が好き

どの新加盟組合員も「竹中が好き」なんだそうです。現在の会社のやり方に不満を持ち、一人では提案をしつた苦い経験を持つ人たちが集まり、「やっぱり労働組合だ」という結論に至つたそうです。

要求

本日の八時三〇分より窓口連絡会の開催を求めます。会社に対して要求したい

ことは、

該当事業所に組合事務所を設置すること。それに伴い、該当事業所に組合掲示板の設置、組合機関紙「破天荒」配布場所を設置すること。

組合会議での会議室の利用を許可すること。

組合員には不当な取り扱いをしないこと。

オプトの労働協約を復活させること。

回答指定日は冬季一時金回答指定日とすること。

そして会社に対して本当に要求したいことは、労使対等の立場で労働条件を維持・発展させ会社を発展させることなんです。

秋闘3次団交報告

十八日に秋闘三回目の団体交渉が行われました。その項目も前進はなかつたわけですがここ二十年ぶりに会社から前進とも後退ともとれるような「このような提案をしたら組合はどうする？」というような質問がありました。

十八日に秋闘三回目の団体交渉が行われました。その項目も前進はなかつたわけですがここ二十年ぶりに会社から前進とも後退ともとれるような「このような提案をしたら組合はどうする？」というような質問がありました。

福利厚生補助金

(ダメだろつとは思いますが)

完全週休二日制

グループ全体の労働条件としてエンジのように一日の労働時間を十五分延長して完全週休二日制にする。(但し年一・二回程度の土曜

出勤日を設ける)そして始業時間を九時、終業時間を一七時四五分とする。

組合としては完全週休二日制は魅力的で要求に沿つたものだが、パートも含め全従業員の問題でもあるので広く検討したいと返答しました。

組合事務所の件

先の台風で組合事務所の

屋根瓦が破損し、会社に修理を依頼していた件ですが正式に文書で回答をいただきました。

見積もりを取つたところ、組合事務所は老朽化が進んでおり建て替えの必要があると考えている。直ぐにはできないが時間をかけて移転を協議していきたい。というような内容でした。

